

「地域生活を支えるしくみ」に関するアンケート調査の結果

[調査の実施概要]

(1) 調査の目的

・次期の堺市地域福祉計画と堺市社会福祉協議会地域福祉総合推進計画を合同で策定するにあたり、「地域生活を支えるしくみ」づくりを推進していくうえでのニーズや課題を把握するために、地域福祉に関わる相談支援を行っている機関・団体を対象としたアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の内容

・堺市における「地域生活を支えるしくみ」に関するつぎの事項について設問しました。

- ① 機関・団体で実施している相談に関する事業・活動の概要について
- ② 「市民の日常生活の課題」と相談支援に関する事業・活動における対応について
- ③ 相談への対応における他機関・団体との連携や「地域生活を支えるしくみ」について
- ④ 「地域の福祉力」の充実や連携をすすめるための取り組みについて
- ⑤ 「堺あったかぬくもりプラン」に対する意見等について

(3) 調査の対象

・下記A～Gの区分に沿って 485の機関・団体を抽出し、調査を依頼しました。
 ・調査の結果は下表の「集計区分」とおり、A～Dを「相談機関・事業所」、E～Gを「地域・市民活動団体」として集計しました。

調査対象の区分		区分に含まれる機関・団体	回収数/発送数	集計区分
A	市レベルの専門機関・行政機関	障害者総合相談情報センター、発達障害者支援センター、障害者就業・生活支援センター、重症心身障害者(児)支援センター、難病患者支援センター、中央子育て支援センター、ユースサポートセンター、女性自立支援センター、配偶者暴力相談支援センター、子ども相談所、こころの健康センター、障害者更生相談所、社会福祉協議会	9/ 14	相談機関・事業所
B	区レベルの専門機関・行政機関	基幹型包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、地域子育て支援センター、スクールソーシャルワーカー、区保健福祉総合センター、社会福祉協議会区事務所	46/ 67	
C	地域レベルの専門機関	地域包括支援センター、在宅介護支援センター	21/ 33	
D	ケアプラン等を作成する事業所	居宅介護支援事業所(※)、障害者指定相談支援事業所(※)小学校区数の事業所を無作為抽出しました	72/136	
E	校区福祉委員会	校区福祉委員会	57/ 93	地域・市民活動団体
F	校区民生委員児童委員会	校区民生委員児童委員会	72/ 93	
G	市民活動団体	地域福祉に関連する相談支援・人材養成を目的とするNPO法人	19/ 49	

(4) 調査の方法

・配付はメール便、回収は郵便による自記式質問紙法で実施しました。
 ・平成25年1月15日に調査票を発送し、1月31日までの投函を依頼しました。

(5) 調査票の回収状況

・調査票の返送数は296通で、すべて有効回答としました。有効回収率は61.0%です。
 ・なお、できるだけ多くの機関・団体の意見を集約するため、2月末日までに到着した調査票は有効としました。

〔調査の結果〕

(※) 集計表の見方について

・ p.47 の「調査の対象」の区分に基づき、「相談機関・事業所」と「地域・市民活動団体」に分けて集計しました。集計表では「相談機関・事業所」は【相】、「地域・市民活動団体」は【地】と示しています。

・ 集計結果は小数点第2位を四捨五入しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問では、合計が100%を超える場合があります。

1. 貴機関・団体で行われている「相談」に関する事業や活動の概要についておたずねします。

問1 「相談」に関する事業や活動を行われている主なエリアは。

1	概ね小学校区	【相】 0.7%【地】 77.0%
2	概ね中学校区	【相】 3.4%【地】 5.4%
3	地域包括支援センターのエリア	【相】 13.5%【地】 2.7%
4	区	【相】 34.5%【地】 2.0%
5	複数の区	【相】 17.6%【地】 2.7%
6	堺市全域	【相】 23.0%【地】 5.4%
7	その他	【相】 6.8%【地】 4.7%
	無回答	【相】 0.7%【地】 0.0%

問2 問1のエリアはどの区に含まれますか。（「複数の区」の場合は主な区を1つお答えください）。

1	堺区	【相】 13.5%【地】 18.9%	6	北区	【相】 8.8%【地】 13.5%
2	中区	【相】 10.8%【地】 13.5%	7	美原区	【相】 7.4%【地】 6.1%
3	東区	【相】 8.8%【地】 5.4%	8	堺市全域	【相】 14.9%【地】 6.1%
4	西区	【相】 11.5%【地】 15.5%		複数の区	【相】 9.5%【地】 1.4%
5	南区	【相】 12.8%【地】 18.9%		無回答	【相】 2.0%【地】 0.7%

問3 どのような課題に関する相談を受けていますか。頻度は低くても受けることがあるものと、多く受けるものを、それぞれお答えください。【複数回答可】

	受けることがある	多く受ける
日常生活でのちょっとした困りごと	【相】 49.3%【地】 56.1%	【相】 27.7%【地】 28.4%
高齢者の福祉や介護	【相】 31.8%【地】 45.3%	【相】 53.4%【地】 39.2%
障害者の福祉や介護	【相】 48.0%【地】 49.3%	【相】 31.8%【地】 8.8%
子どもの福祉や子育て	【相】 29.1%【地】 46.6%	【相】 14.2%【地】 20.9%
権利擁護	【相】 40.5%【地】 25.7%	【相】 18.2%【地】 1.4%
経済的な困窮	【相】 41.9%【地】 41.9%	【相】 25.7%【地】 16.2%
地域の福祉や健康に関する活動の推進	【相】 38.5%【地】 42.6%	【相】 20.3%【地】 22.3%
その他	【相】 10.1%【地】 14.2%	【相】 13.5%【地】 5.4%
無回答	【相】 6.1%【地】 5.4%	【相】 14.9%【地】 37.8%

2. 相談などを通じて感じておられる「市民の日常生活の課題」と対応についておたずねします。

問4 市民の日常生活に関するつぎのような課題の相談に対応していますか。また、対応されるなかで困難を感じているものがありますか。【A～Hの各項目について、1～4から選んでください】

	対応している	対応して困難を感じている	特に対応はしていない	課題に直面していない	無回答
【A】必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人がいる	【相】35.8% 【地】40.5%	【相】42.6% 【地】16.2%	【相】6.1% 【地】7.4%	【相】9.5% 【地】27.7%	【相】6.1% 【地】8.1%
【B】子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人がいる	【相】15.5% 【地】40.5%	【相】13.5% 【地】8.8%	【相】20.3% 【地】8.1%	【相】41.9% 【地】32.4%	【相】8.8% 【地】10.1%
【C】経済的に困窮し、支援が受けられない人がいる	【相】21.6% 【地】29.7%	【相】45.3% 【地】12.8%	【相】6.1% 【地】13.5%	【相】18.2% 【地】28.4%	【相】8.8% 【地】15.5%
【D】就労や社会参加を希望しているが、実現できない人がいる	【相】16.2% 【地】13.5%	【相】37.2% 【地】16.9%	【相】14.2% 【地】16.9%	【相】25.7% 【地】39.9%	【相】6.8% 【地】12.8%
【E】地域から孤立し、生活に支障をきたしている人がいる	【相】18.9% 【地】25.0%	【相】39.2% 【地】15.5%	【相】10.1% 【地】10.1%	【相】21.6% 【地】39.9%	【相】10.1% 【地】9.5%
【F】虐待や権利侵害に遭っている人がいる	【相】21.6% 【地】14.9%	【相】41.9% 【地】7.4%	【相】6.1% 【地】14.2%	【相】20.3% 【地】50.0%	【相】10.1% 【地】13.5%
【G】日常生活でのちょっとした困りごとへの支援が受けられない人がいる	【相】35.1% 【地】41.9%	【相】33.8% 【地】11.5%	【相】8.1% 【地】12.8%	【相】13.5% 【地】22.3%	【相】9.5% 【地】11.5%
【H】支援が必要だが、本人が拒否して受け入れられない人がいる	【相】17.6% 【地】15.5%	【相】55.4% 【地】25.7%	【相】4.1% 【地】10.8%	【相】14.2% 【地】38.5%	【相】8.8% 【地】9.5%

問5 問4の【A】～【H】の課題を解決するには、どのような取り組みが重要だと思いますか。

【A～Hの各項目について、1～5から 3つまで 選んでください】

	課題に対応するサービスや活動を充実する	関係機関や団体、市などが協働して取り組む	地域の人による支えあい活動を充実する	当事者が主体的に支援を受ける力を高める	相談支援の体制や技術を高める	無回答
【A】必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人がいる	【相】57.4% 【地】35.8%	【相】66.9% 【地】66.9%	【相】37.8% 【地】24.3%	【相】18.9% 【地】24.3%	【相】34.5% 【地】22.3%	【相】5.4% 【地】14.2%
【B】子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人がいる	【相】36.5% 【地】33.8%	【相】55.4% 【地】43.9%	【相】61.5% 【地】54.7%	【相】24.3% 【地】23.0%	【相】26.4% 【地】11.5%	【相】11.5% 【地】16.2%
【C】経済的に困窮し、支援が受けられない人がいる	【相】52.7% 【地】26.4%	【相】68.9% 【地】58.1%	【相】20.3% 【地】13.5%	【相】27.7% 【地】28.4%	【相】36.5% 【地】23.0%	【相】5.4% 【地】20.9%
【D】就労や社会参加を希望しているが、実現できない人がいる	【相】46.6% 【地】35.1%	【相】68.2% 【地】50.0%	【相】15.5% 【地】4.7%	【相】35.8% 【地】39.2%	【相】36.5% 【地】30.4%	【相】9.5% 【地】19.6%
【E】地域から孤立し、生活に支障をきたしている人がいる	【相】25.0% 【地】20.3%	【相】52.0% 【地】38.5%	【相】65.5% 【地】42.6%	【相】28.4% 【地】39.9%	【相】38.5% 【地】16.9%	【相】8.8% 【地】20.3%
【F】虐待や権利侵害に遭っている人がいる	【相】35.1% 【地】20.9%	【相】75.7% 【地】58.8%	【相】27.7% 【地】25.7%	【相】20.3% 【地】20.3%	【相】56.8% 【地】28.4%	【相】9.5% 【地】23.0%
【G】日常生活でのちょっとした困りごとへの支援が受けられない人がいる	【相】45.9% 【地】26.4%	【相】41.9% 【地】32.4%	【相】68.9% 【地】55.4%	【相】20.9% 【地】27.7%	【相】30.4% 【地】23.6%	【相】6.1% 【地】16.9%
【H】支援が必要だが、本人が拒否して受け入れられない人がいる	【相】23.6% 【地】15.5%	【相】52.7% 【地】43.9%	【相】38.5% 【地】26.4%	【相】39.9% 【地】43.9%	【相】59.5% 【地】31.8%	【相】7.4% 【地】17.6%

問6 問4の【A】～【H】や「その他」としてあげられた課題を解決していくうえで、これまでに取り組まれて効果的だったことがあればお書きください。（記述回答・略）

問7 災害時に備えて、避難などに支援が必要な人（見守りの対象者や福祉サービスの利用者など）を支えるために取り組まれていることがありますか。また、今後、取り組みたいことがありますか。【複数回答可】

	現在、取り組んでいる	今後、取り組みたい
支援が必要な人の把握	【相】26.4%【地】66.2%	【相】47.3%【地】24.3%
把握した情報の集約と共有	【相】20.3%【地】48.6%	【相】52.7%【地】33.1%
支援が必要な人の避難支援の体制づくり	【相】9.5%【地】32.4%	【相】57.4%【地】50.7%
支援が必要な人と地域の日常的なつながりづくり	【相】20.3%【地】48.6%	【相】49.3%【地】30.4%
災害時の避難などに関する訓練	【相】15.5%【地】57.4%	【相】46.6%【地】29.1%
支援が必要な人に配慮した避難所の確保	【相】10.1%【地】26.4%	【相】50.0%【地】52.0%
その他	【相】6.1%【地】3.4%	【相】6.1%【地】4.7%
特になし	【相】4.7%【地】0.0%	【相】2.7%【地】0.7%
無回答	【相】47.3%【地】11.5%	【相】16.2%【地】21.6%

問8 相談への対応を行ううえで、課題となっていることがありますか。【複数回答可】

1 対応すべき相談が多く、現在の体制では負担が大きい	【相】45.3%【地】16.2%
2 対応や支援が困難な相談に対して、適切な対応が難しいことがある	【相】62.8%【地】39.9%
3 対応や支援で困ったときに専門的な助言（スーパービジョン）などが受けられない	【相】28.4%【地】6.1%
4 適切に対応するための知識や技術を高めるための研修や自己研鑽の機会が少ない	【相】17.6%【地】18.9%
5 対応や支援を行っていくうえで、利用できる制度や公的なサービスがない	【相】29.7%【地】8.1%
6 対応や支援を行っていくうえで、地域などの協力や支援が得にくい	【相】20.9%【地】24.3%
7 対応や支援を行っていくうえで、他の機関・団体等との協働が十分できない	【相】25.7%【地】25.7%
8 その他	【相】6.1%【地】7.4%
9 特に課題となっていることはない	【相】4.1%【地】12.8%
無回答	【相】2.7%【地】16.9%

問9 相談以外も含めて、事業や活動を展開されるうえで、課題となっていることがあればお書きください。（記述回答・略）

3. 相談への対応などにおける他機関・団体等との連携についておたずねします。

問10-(1) 主にどこから相談を受けていますか。頻度は低くても受けることがあるところ、頻繁に受けるところを、それぞれお答えください。【複数回答可】

	受けることがある	頻繁に受ける
支援を必要とする当事者や家族	【相】30.4%【地】70.3%	【相】64.9%【地】10.8%
地域の福祉活動団体や活動者	【相】46.6%【地】52.7%	【相】25.7%【地】11.5%
その他の地域の人	【相】52.0%【地】43.2%	【相】10.1%【地】4.1%
市民活動団体	【相】31.8%【地】15.5%	【相】4.7%【地】2.0%
地域の相談機関	【相】35.8%【地】31.1%	【相】30.4%【地】7.4%
ケアプラン等を作成する事業所	【相】37.8%【地】30.4%	【相】27.7%【地】4.1%
福祉サービスを提供する事業所	【相】46.6%【地】28.4%	【相】32.4%【地】5.4%
医療機関等	【相】43.9%【地】12.8%	【相】28.4%【地】2.7%
市の行政機関や市域の専門機関	【相】37.2%【地】28.4%	【相】29.1%【地】6.1%
区役所・区域の専門機関	【相】28.4%【地】32.4%	【相】41.9%【地】8.8%
社会福祉協議会	【相】42.6%【地】39.9%	【相】11.5%【地】8.1%
その他	【相】12.2%【地】0.7%	【相】2.7%【地】0.0%
無回答	【相】4.1%【地】6.1%	【相】27.7%【地】75.0%

問10-(2) 相談に対応するうえで、連携したりつなぐ先、今後は連携したいと思うところはどこですか。

【複数回答可】

	連携することがある	頻繁に連携する	今後は連携したい
支援を必要とする当事者や家族	【相】19.6%【地】48.0%	【相】64.2%【地】14.9%	【相】2.7%【地】10.1%
地域の福祉活動団体や活動者	【相】37.8%【地】40.5%	【相】25.0%【地】23.6%	【相】18.2%【地】6.8%
その他の地域の人	【相】39.9%【地】26.4%	【相】8.8%【地】6.8%	【相】14.9%【地】8.8%
市民活動団体	【相】31.1%【地】16.2%	【相】8.1%【地】5.4%	【相】33.8%【地】9.5%
地域の相談機関	【相】33.1%【地】33.8%	【相】41.9%【地】16.9%	【相】8.8%【地】8.1%
ケアプラン等を作成する事業所	【相】34.5%【地】33.8%	【相】35.1%【地】6.1%	【相】3.4%【地】10.1%
福祉サービスを提供する事業所	【相】30.4%【地】34.5%	【相】52.0%【地】10.1%	【相】2.0%【地】12.8%
医療機関等	【相】32.4%【地】16.2%	【相】42.6%【地】4.1%	【相】8.1%【地】18.9%
市の行政機関や市域の専門機関	【相】35.8%【地】37.2%	【相】39.9%【地】12.2%	【相】8.8%【地】12.2%
区役所・区域の専門機関	【相】30.4%【地】43.9%	【相】49.3%【地】20.3%	【相】7.4%【地】10.8%
社会福祉協議会	【相】41.2%【地】49.3%	【相】22.3%【地】18.9%	【相】15.5%【地】6.8%
その他	【相】4.7%【地】1.4%	【相】3.4%【地】0.0%	【相】2.7%【地】1.4%
無回答	【相】10.1%【地】13.5%	【相】17.6%【地】56.1%	【相】51.4%【地】62.8%

問11 関係機関・団体等の連携をすすめるための会議（ネットワーク会議）などについて、どのような点の充実が必要だと思いますか。【3つまで 選んでください】

1 高齢・障害・児童などの分野を超えて、地域の課題に横断的に対応するために連携する	【相】52.0%【地】52.7%
2 地域で活動している人と専門機関や事業者などが知りあい、つながる	【相】56.1%【地】55.4%
3 地域の課題や、課題を解決するための取り組みなどについての情報を共有する	【相】46.6%【地】57.4%
4 日常生活に課題をもつ人への支援を、具体的にすすめるための連携を強化する	【相】39.2%【地】40.5%
5 多様な人々が連携して、新たな資源（活動やサービス、人材、拠点、財源など）を開発する	【相】39.9%【地】24.3%
6 地域生活を支えるしくみづくりなどを協力してすすめるための目標や計画をつくる	【相】17.6%【地】22.3%
7 その他	【相】3.4%【地】0.7%
8 特にない	【相】0.7%【地】0.7%
無回答	【相】4.1%【地】5.4%

問12 「地域生活を支えるしくみ」づくりのためには、つぎの【ア】～【ク】のような取り組みを充実する必要があると考えられますが、事業や活動が行われている地域では、どの程度できていると思いますか（貴機関・団体関わっておられる範囲でお答えください）。

	かなりできている	多少はできている	どちらともいえない	あまりできていない	ほとんどできていない	わからない	無回答
【ア】情報提供と情報活用支援	【相】15.5%【地】16.2%	【相】50.7%【地】43.9%	【相】18.2%【地】13.5%	【相】8.8%【地】14.9%	【相】2.0%【地】4.1%	【相】1.4%【地】1.4%	【相】3.4%【地】6.1%
【イ】ニーズ把握とつなぎ	【相】16.9%【地】7.4%	【相】51.4%【地】46.6%	【相】18.2%【地】18.2%	【相】6.1%【地】10.8%	【相】2.7%【地】4.7%	【相】1.4%【地】2.7%	【相】3.4%【地】9.6%
【ウ】サービス調整	【相】25.7%【地】7.4%	【相】51.4%【地】31.1%	【相】13.5%【地】28.4%	【相】2.0%【地】8.8%	【相】1.4%【地】5.4%	【相】0.7%【地】7.4%	【相】5.4%【地】11.5%
【エ】サービス提供	【相】24.3%【地】6.1%	【相】45.3%【地】34.5%	【相】16.9%【地】30.4%	【相】2.7%【地】9.5%	【相】3.4%【地】4.7%	【相】0.7%【地】5.4%	【相】6.8%【地】9.5%
【オ】サービス開発	【相】1.4%【地】2.0%	【相】14.9%【地】8.8%	【相】30.4%【地】30.4%	【相】19.6%【地】19.6%	【相】20.9%【地】15.5%	【相】5.4%【地】8.8%	【相】7.4%【地】14.9%
【カ】福祉コミュニティづくり	【相】5.4%【地】9.5%	【相】23.6%【地】39.9%	【相】22.3%【地】20.3%	【相】23.0%【地】6.8%	【相】12.2%【地】9.5%	【相】6.8%【地】4.1%	【相】6.8%【地】10.1%
【キ】経験の集約と施策化	【相】2.0%【地】5.4%	【相】24.3%【地】15.5%	【相】27.0%【地】29.7%	【相】16.9%【地】12.8%	【相】12.8%【地】14.2%	【相】10.1%【地】6.8%	【相】6.8%【地】15.5%
【ク】総合的に推進するしくみ	【相】2.0%【地】6.1%	【相】19.6%【地】25.0%	【相】33.8%【地】23.0%	【相】15.5%【地】8.8%	【相】10.1%【地】16.9%	【相】10.8%【地】4.7%	【相】8.1%【地】15.5%

4. 地域の福祉力を高めるための取り組みについておたずねします。

問13 地域福祉をすすめていくうえでの「地域の福祉力」（地域での支えあいなど）に関して、事業や活動が行われている地域の【A】～【E】の状況について、どのように感じていますか。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	無回答
【A】住民や団体が積極的に活動している	【相】 18.2 %【地】 24.3%	【相】 33.1 %【地】 43.9%	【相】 23.6 %【地】 15.5%	【相】 12.8 %【地】 4.7%	【相】 5.4 %【地】 4.7%	【相】 4.1 %【地】 2.0%	【相】 2.7 %【地】 4.7%
【B】地域全体の課題として取り組まれている	【相】 8.1 %【地】 16.2%	【相】 24.3 %【地】 31.8%	【相】 39.2 %【地】 27.7%	【相】 14.9 %【地】 8.1%	【相】 6.1 %【地】 7.4%	【相】 4.1 %【地】 3.4%	【相】 3.4 %【地】 5.4%
【C】関係機関等との協働がうまくいっている	【相】 9.5 %【地】 29.1%	【相】 36.5 %【地】 41.2%	【相】 35.1 %【地】 14.9%	【相】 10.8 %【地】 4.7%	【相】 2.7 %【地】 3.4%	【相】 2.0 %【地】 2.0%	【相】 3.4 %【地】 4.7%
【D】活動を担っている人の負担が大きい	【相】 38.5 %【地】 48.0%	【相】 38.5 %【地】 33.8%	【相】 13.5 %【地】 9.5%	【相】 2.0 %【地】 4.1%	【相】 0.0% 【地】 0.0%	【相】 5.4 %【地】 2.0%	【相】 2.0 %【地】 7.7%
【E】地域福祉には無関心な住民が多い	【相】 12.8 %【地】 25.7%	【相】 23.6 %【地】 30.4%	【相】 38.5 %【地】 24.3%	【相】 12.8 %【地】 8.1%	【相】 4.7 %【地】 4.1%	【相】 4.7 %【地】 3.4%	【相】 2.7 %【地】 4.1%

問14 多くの市民が地域福祉をすすめる活動を担っていけるようにするための支援として、取り組んでいることがありますか。また、今後、取り組みたいことがありますか。【複数回答可】

	現在、取り組んでいる	今後、取り組みたい
市民が参加しやすい活動機会を提供している	【相】 20.9%【地】 58.1%	【相】 37.8%【地】 21.6%
活動者を養成するための研修などを行っている	【相】 22.3%【地】 16.9%	【相】 31.8%【地】 52.7%
活動の情報発信や参加の呼びかけを行っている	【相】 27.7%【地】 64.2%	【相】 34.5%【地】 17.6%
活動の場所などを提供している	【相】 24.3%【地】 60.1%	【相】 34.5%【地】 11.5%
活動者や団体のネットワークづくりをすすめている	【相】 31.1%【地】 39.2%	【相】 27.7%【地】 30.4%
その他	【相】 2.0%【地】 4.1%	【相】 2.7%【地】 2.7%
特にない	【相】 5.4%【地】 0.0%	【相】 3.4%【地】 0.7%
無回答	【相】 41.2%【地】 14.9%	【相】 33.8%【地】 33.1%

問15 市民による地域福祉活動を推進していくには、どのような取り組みを充実していくことが重要だと思いますか。【5つまで 選んでください】

1 活動を支援する専門職（コミュニティワーカー）の体制や支援機能を高める	【相】 56.1%【地】 47.3%
2 活動に必要な拠点や財源などを確保するための支援を充実する	【相】 59.5%【地】 54.7%
3 活動についての広報・情報提供や参加のきっかけを充実する	【相】 61.5%【地】 56.8%
4 活動に必要な知識や技術を学ぶ機会を充実する	【相】 41.9%【地】 43.2%
5 負担が小さく、気軽に参加できる活動を増やす	【相】 65.5%【地】 75.0%
6 ある程度の収入が得られる有償活動やビジネスの視点で展開できる活動を推進する	【相】 34.5%【地】 24.3%
7 福祉について学び、関心や理解を広げる取り組みを充実する	【相】 29.7%【地】 38.5%
8 多くの市民が地域に対して関心をもったり、自治会などの多様な地域活動に参加できるようにする	【相】 54.1%【地】 76.4%
9 その他	【相】 2.0%【地】 4.1%
10 特にない	【相】 0.0%【地】 0.0%
無回答	【相】 3.4%【地】 2.0%

問16 堺市では地域の方々や機関・団体が連携してさまざまな困りごとを解決するためのつなぎ役として、社会福祉協議会の区事務所に「地域福祉ねっとワーカー」（地域を担当する職員）を配置していますが、このワーカーと連携して事業や活動を行うことがありますか。【複数回答可】

1 相談への対応に関して、連携することがある（あった）	【相】 41.9% 【地】 64.2%
2 地域の会議などでいっしょに協議をすることがある（あった）	【相】 36.5% 【地】 71.6%
3 その他の事業や活動などで連携することがある（あった）	【相】 18.9% 【地】 55.4%
4 地域福祉ねっとワーカーは知っているが、特に連携したことはない	【相】 19.6% 【地】 9.5%
5 地域福祉ねっとワーカーのことは知らなかった	【相】 18.9% 【地】 5.4%
6 その他	【相】 2.0% 【地】 0.0%
無回答	【相】 8.1% 【地】 2.7%

5. 「堺あったかぬくもりプラン」（地域福祉計画等）に対するご意見等をおたずねします。

問17 平成25年度を目標年次とした現行の地域福祉計画等（「新・堺あったかぬくもりプラン」〔第2次堺市地域福祉計画・第4次堺市社会福祉協議会地域福祉総合推進計画〕）に基づいて重点的に推進している事業や活動をご存じですか。また、どの程度の関わりをもっておられますか。

1 現行計画に基づく事業や活動に関わっている	【相】 23.0% 【地】 45.9%
2 現行計画に基づく事業や活動は知っているが、特に関わっているものはない	【相】 39.2% 【地】 24.3%
3 現行計画を知らない	【相】 26.4% 【地】 8.1%
4 その他	【相】 0.0% 【地】 0.0%
無回答	【相】 11.5% 【地】 21.6%

→ 「関わっている」または「知っている」事業・活動は【複数回答可】

1 地域福祉ねっとワーカー	【相】 41.2% 【地】 45.9%
2 いきいき堺市民大学	【相】 27.7% 【地】 22.3%
3 権利擁護の中核的なセンター	【相】 18.9% 【地】 5.4%
4 地域のつながりハート事業（小地域ネットワーク活動）	【相】 31.1% 【地】 67.6%
5 学校・地域・職域での福祉教育の推進	【相】 14.9% 【地】 23.6%
6 ボランティア・市民活動への支援・協働	【相】 33.8% 【地】 46.6%
7 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）	【相】 42.8% 【地】 18.9%
8 災害ボランティア活動の推進	【相】 18.2% 【地】 29.1%
9 その他	【相】 2.0% 【地】 0.0%
無回答	【相】 41.9% 【地】 20.3%

問18 堺市では、平成26年度からの新たな「堺・あったかぬくもりプラン」（第3次計画）を来年度中に策定します。問17で示した事業・活動の一層の推進なども含めて、この計画で重点的な取り組みとして位置づけていくべきだと思われることがあればお書きください。

また、その他のご意見等がありましたら、自由にお書きください。

（記述回答・略）